



stcli file clone コマンド

- [stcli file clone コマンド \(1 ページ\)](#)
- [stcli snapshot-schedule コマンド \(2 ページ\)](#)
- [stcli vm コマンド \(2 ページ\)](#)

stcli file clone コマンド

指定されたファイルの HX クローンを作成します。

```
stcli file clone [-h] --name NAME --clone CLONE [--parentname PARENTNAME] [--replfirst]
[--repl] [--readonly] [--thick]
```

構文の説明

オプション	必須またはオプション	説明
--clone CLONE	必須です。	ファイルのクローンに割り当てる名前。
--name NAME	必須です。	クローンを作成するファイルの名前。
--parentname PARENTNAME	オプション。	クローンを作成するファイルの親ファイルの名前。
--replfirst	オプション。	最初のレプリケーションファイルのクローン。
--repl	オプション。	レプリケーションファイルのクローン。
--readonly	オプション。	読み取り専用ファイルのクローン。
--thick	オプション。	シック ファイルのクローン。

コマンドデフォルト

なし。ファイル名とクローン名は必須です。

使用上のガイドライン

stcli file clone コマンドでは、位置指定引数を指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

stcli snapshot-schedule コマンド

このクラスタ内のすべてのオブジェクトに対するネイティブ スナップショット スケジュールを有効または無効にします。

stcli snapshot-schedule [-h] {--enable | --disable}

構文の説明	オプション	必須またはオプション	説明
	--enable	セットのいずれかが必要。	ネイティブ スナップショット スケジュールを有効にします。
	--disable	セットのいずれかが必要。	ネイティブ スナップショット スケジュールを無効にします。

コマンド デフォルト なし。セット内の 1 つのオプションが必要。

使用上のガイドライン stcli snapshot-schedule コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

ネイティブ スナップショット スケジュールを作成するには、HX Data Platform プラグインを使用します。このコマンドを使用すると、スケジュールを再構築することなく、スケジュールを無効にしてから再度有効にできます。

stcli vm コマンド

HX Data Platform VM ReadyClone およびネイティブ スナップショット操作。

stcli vm [-h] {clone | snapshot}

構文の説明	オプション	必須またはオプション	説明
	clone	セットのいずれかが必要。	特定の VM の ReadyClone を指定された数だけ作成します。
	snapshot	セットのいずれかが必要。	特定の VM のネイティブ スナップショットを作成します。

コマンド デフォルト なし。セット内の 1 つのオプションが必要。

使用上のガイドライン stcli vm コマンドでは、{} で囲まれた位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

stcli vm clone コマンド

特定の VM の ReadyClone を指定された数だけ作成します。

```
stcli vm clone [-h] [--id ID | --name NAME] --clone CLONE --number NUMBER [--poweron]
[--custspec CUSTSPEC] [--guestname GUESTNAME] [--startnumber STARTNUMBER] [--increment
INCREMENT] [--resourcepool-id RP-ID | --resourcepool-name RP-NAME]
```

構文の説明	オプション	必須またはオプション	説明
	--clone CLONE	必須です。	ReadyClone の名前。
	--id ID	セットのいずれかが必要。	ソース VM の ID。ID は、 <code>stcli cluster info</code> コマンドでリストされます。
	--name NAME	いずれか 1 つが必須。	ソース VM の名前。
	--number NUMBER	必須です。	作成する ReadyClone の数。
	--custspec CUSTSPEC	オプション。	ReadyClone のゲストカスタマイズ仕様。vCenter のゲスト OS カスタマイズ機能を参照してください。
	--guestname GUESTNAME	オプション。	ソース VM 名とは異なることがあるため、ReadyClone のゲスト名を指定します。 デフォルトは、ホストの DNS 名です。この名前を指定するには、その名前を DNS で解決する必要があります。
	--increment INCREMENT	オプション。	ReadyClone 名をインクリメントするために使用するサフィックス。
	--poweron	オプション。	クローン作成後に、作成された ReadyClone の電源を入れます。
	--resourcepool-id RP-ID	オプション。	ReadyClone を配置するリソースプールの ID。
	--resourcepool-name RP-NAME	オプション。	ReadyClone を配置するリソースプールの名前。
	--startnumber STARTNUMBER	オプション。	ReadyClone 名をインクリメントするためのサフィックスの開始番号。

コマンド デフォルト なし。一部のオプションは必須です。

使用上のガイドライン `stcli vm clone` コマンドでは、リストされている必須の位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。

stcli vm snapshot コマンド

特定の VM のネイティブ スナップショットを作成します。

```
stcli vm snapshot [-h] {id ID | --name NAME | --folder-id FOLDER-ID | --folder-name
FOLDER-NAME | --resourcepool-id RP-ID | --resourcepool-name RP-NAME} --snapshot
SNAPSHOT [--desc DESC] [--memory | --quiesce]
```

構文の説明	オプション	必須またはオプション	説明
	--snapshot SNAPSHOT	必須です。	ネイティブ スナップショットの名前。
	--folder-id FOLDER-ID	セットのいずれかが必要。	ネイティブ スナップショットを作成するためのフォルダの ID。
	--folder-name FOLDER-NAME	セットのいずれかが必要。	ネイティブ スナップショットを作成するためのフォルダの名前。
	--id ID	セットのいずれかが必要。	ネイティブ スナップショットを作成するために使用するソース VM の ID。
	--name NAME	セットのいずれかが必要。	ネイティブ スナップショットを作成するために使用するソース VM の名前。
	--resourcepool-id RP-ID	セットのいずれかが必要。	ネイティブ スナップショットを作成するために使用するリソース プールの ID。
	--resourcepool-name RP-NAME	セットのいずれかが必要。	ネイティブ スナップショットを作成するために使用するリソース プールの名前。
	--desc DESC	オプション。	ネイティブ スナップショット説明。
	--memory	ペアとなるオプションの 1 つ。	ネイティブ スナップショット用のメモリ。
	--quiesce	ペアとなるオプションの 1 つ。	仮想マシンのファイル システムを休止します。

コマンド デフォルト なし。一部のオプションは必須です。

使用上のガイドライン stcli vm snapshot コマンドでは、リストされている必須の位置指定引数のいずれかを指定するほか、[] で囲まれた引数を任意に指定できます。